

日本精神保健福祉連盟  
会長表彰（団体）  
受賞記念大会

## 第42回 全国精神保健福祉業務研修会 in かながわ

### 「変わりゆく法制度と自治体職員の果たすべき役割」

日程：平成30年2月3日（土）・4日（日）

会場：横浜市社会福祉センター（横浜市中区桜木町1丁目1）

#### 1日目

- \* 講演 「精神保健・医療・福祉施策の動向  
～平成30年度からの新たな取組みに向けて～」
- \* 報告 「家族支援のこれからを考える  
～英国の地域精神保健医療システムと訪問家族支援～」
- \* 報告 「市区町村長同意の運用と行政職員の役割」
- \* 講演 「政策研究から見えてくる今後の精神保健医療福祉施策の動向」
- \* 基礎研修Ⅰ 「基礎から学ぶ措置業務」

#### 2日目

- \* 分科会1 講演 「精神障害者の地域生活を推進する政策研究」分担研究  
「措置入院患者の退院後における地域包括支援のあり方」研究班報告  
シンポジウム 「措置入院者等の退院後支援」
- \* 分科会2 実践報告 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」
- \* 分科会3 アディクション関連問題について考える
- \* 分科会4 「中核市等保健所情報交換会」
- \* 基礎研修Ⅱ 「近隣苦情対応における受診援助について」



定 員：320名（先着順）  
対 象：精神保健福祉業務に  
従事する自治体職員  
参 加 費（資料代含む）  
：会 員 4,000円  
：非会員 8,000円  
申込期間：平成29年12月11日（月）  
～平成30年1月12日（金）必着  
※定員に達し次第、締め切ります。  
問 合 せ：研修会事務局  
E-mail kensyu@zenseisou.ciao.jp

主催：全国精神保健福祉相談員会 <http://www.zenseisou.com>

後援（予定）：神奈川県 横浜市 川崎市 相模原市 全国保健所長会 全国精神保健福祉センター長

1日目 2月3日(土) 受付開始 10:00~

会場 4階ホール(定員 306人)

10:30~12:00	13:00~16:30	
<b>報告 家族支援のこれからを考える</b> ~英国の地域精神保健医療システムと訪問家族支援~ 報告者 熊取谷 晶 (京都府精神保健福祉総合センター) 大野 美子 (愛知県健康福祉部障害福祉課こころの健康推進室)  イギリス バーミンガムの地域精神保健システムを視察した熊取谷と、メリデンファミリープログラムの研修を受講した大野から、イギリスの精神保健福祉及び、訪問により本人と家族をともに支援する「メリデン版訪問家族支援」について報告します。	<b>基礎研修Ⅰ 基礎から学ぶ措置業務</b>  講師 中村 征人(愛知県瀬戸保健所) 木本 達男(岡山市こころの健康センター)  措置業務では、申請者や被通報者との面接、措置診察の立会や告知等を行う公権力を行使する立場と地域生活支援を行う立場を併せ持つことになります。 業務の重要な視点や対応を基礎から学び、我々の業務のあり方や役割について語り合しましょう。	
10:30~12:00	13:00~14:00	14:00~16:30
<b>講演</b> <b>精神保健・医療・福祉施策の動向</b> ~平成30年度からの新たな取組みに向けて~  講師 厚生労働省 社会援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課  平成30年度の医療・障害・高齢領域の各基本的計画の一斉改定、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築と推進。そして精神保健福祉法改正の今後、さらには、診療報酬改定、総合支援法報酬改定等の新たな精神保健・医療・福祉制度・体制に向けた施策の動向について御講演いただく予定です。	<b>報告</b> <b>市区町村長同意の運用と行政職員の役割</b>  報告者 波田野隼也 青森市浪岡事務所  市区町村長同意対象者の拡大が予測される中、現行制度においても多くの課題を残しています。改めて市区町村長同意の意味と行政職員の役割について整理します。	<b>講演</b> <b>政策研究</b> 講師 藤井 千代氏 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 社会復帰研究部長  当会も参画している「精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究」について、その概況と、今後の地域精神保健福祉施策への展開及び自治体の果たす役割について関連する調査結果も踏まえた御講演いただきます。

会場 9階 小会議室901・902(定員 50人)

懇親会「いいじゃん神奈川♡いいじゃん全精相」

全国から集まった仲間と毎日を乗り切るための  
交流・情報交換の場です。

日時: 2月3日(土) 18:30~(受付: 17:45~)

会費: 5,500円

会場: 重慶飯店 別館(横浜市中区山下町142)

※本館ではないので間違えないようにお願いします。

重慶飯店別館

検索

会員総会のご案内

日時: 2月4日(日)

午後3時半から午後4時まで

会場: 901・902

会員の方はご参加ください。

参加できない場合、別途送付した総会案内に同封の委任状をご提出ください。

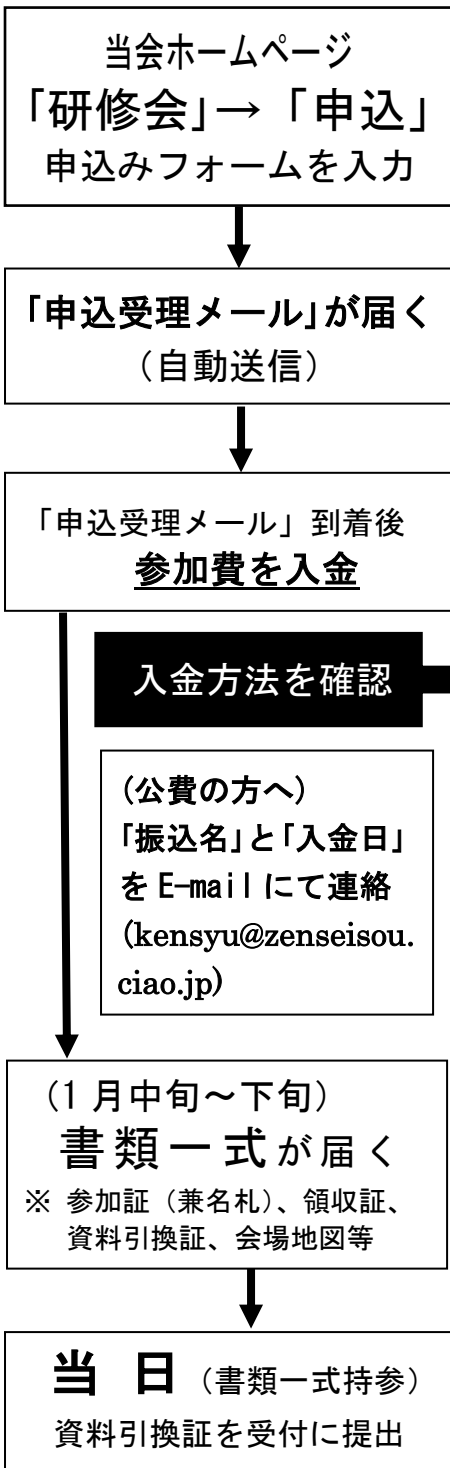
**2日目 2月4日(日)** 注意)分科会は午前・午後と選択可能ですが、分科会Ⅱは午後のみ参加は受付できません。

	9:30~11:30	12:30~15:00
分科会1 (定員306人)	<p>会場 4階ホール</p> <p><b>講演「精神障害者の地域生活を推進する政策研究」分組研究「措置入院患者の退院後における地域包括支援のあり方」研究班報告</b> 司会：塚本哲司 埼玉県精神保健福祉センター</p> <p>講演Ⅰ「措置入院制度（23条通報）運用について」 講師：藤井千代氏 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 社会復帰研究部長</p> <p>講演Ⅱ「措置入院者等の退院後支援について」 講師：椎名明大氏 千葉大学 社会精神保健教育研究センター 治療・社会復帰支援研究部門 特任准教授</p>	<p><b>シンポジウム「措置入院者等の退院後支援」</b> 座長：藤井千代氏 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 金田一正史 千葉県精神保健福祉センター</p> <p>「横浜市における措置入院者等の退院後支援」 コーディネーター：白川教人氏 横浜市こころの健康相談センター長 「滋賀県における措置入院者等の退院後支援」 コーディネーター：辻本哲士氏 滋賀県立精神保健福祉センター長 指定発言：田所淳子 高知県中央西福祉保健所 指定発言：椎名明大氏 千葉大学社会精神保健教育研究センター</p>
分科会2 (定員100人)	<p>会場 8階 大会議室8A・8B <b>注)1日通しての参加のみ受付します。</b></p> <p><b>実践報告</b> 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」 【助言者】野口正行氏 岡山県精神保健福祉センター長</p> <p>「総合相談体制づくりと精神保健福祉相談」 柄澤尚江 北広島市役所保健福祉部（北海道）</p> <p>「精神保健福祉における多機関協働を目指して」 伊藤 慧氏 川崎市麻生区保健福祉センター（神奈川県）</p> <p>「倉敷市保健所における当事者活動との協働」 堂前直樹 倉敷市保健所（岡山県）</p> <p>「ピアスタッフ活動の実際とこれから」 堀合研二郎氏 横浜ピアスタッフ協会</p>	<p><b>自治体規模別グループワーク</b> 「地域包括ケアシステムの実践のために、まずつながりましょう」</p> <p>地域包括ケアシステムとは「誰もが可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、様々なケアが一つの同じ方向に向かって繋がる仕組み」のことです。</p> <p>同じ規模の自治体の方々との情報交換や交流を通じて、私たちもつながっていきましょう。</p>
分科会3 (定員50人)	<p>会場 9階 小会議室901・902</p> <p><b>「アルコール関連問題への支援～神奈川県の実状から～」</b> 「医療機関での治療状況と地域関係機関との連携」 大曾根しのぶ氏 神奈川県立精神医療センター 「回復施設の役割と相談室の活動について」 寿アルク ヒューマンサポートセンター 「ひとりで悩まないで一緒に考えよう～ネットワークで支える依存症支援」 柴山陽子氏 川崎市精神保健福祉センター</p>	<p><b>「ギャンブル依存症について考える」</b> 「医療機関から見たギャンブル依存症者への支援について」 佐藤 拓氏 成瀬メンタルクリニック院長 「回復施設・当事者の立場から見た依存症からの回復について」 田上啓子氏 地域活動支援センター ヌジュミ</p>
分科会4・基礎研修(定員30人)	<p>会場 8階 大会議室8F</p> <p><b>「中核市等保健所情報交換会」</b> 保健所を設置しているのは、特別区23区、中核市は48市、特例市では5市です。各自治体の規模や地域性により、精神保健福祉に関する取組みは多様です。そこで、各保健所の実情や悩みを共有する目的で分科会を企画しました。 市ならではの業務「市長同意」「措置対応」「地域移行」などについて、意見交換をしましょう。</p>	<p><b>基礎研修Ⅱ</b> 「近隣苦情対応における受診援助について」 講師 小池尚志 相模原市精神保健福祉課（神奈川県）</p> <p>「受診援助」とは、当事者には受診の主体性が乏しいが、周囲は大いにその必要性を感じる時に行う受診勧奨等を指し、しばしばこのような役割を行政職員に期待されます。そこで、いわゆる「近隣苦情」を題材に、この対応を考えたいきます。</p>

# 申込み方法

「[当会ホームページ](#)」→「[研修会](#)」→「[申込](#)」からお申込みください。  
検索→「[全国精神保健福祉相談員会](#)」（<http://www.zenseisou.com>）

## ☆ 申込みの流れ ☆



## ★ 申込みに関する留意事項

- ・申込み後2, 3日を過ぎても「申込受理メール」が届かない場合は、研修会事務局へE-mail ([kensyu@zenseisou.ciao.jp](mailto:kensyu@zenseisou.ciao.jp))にてご連絡ください。分科会は、定員により希望に添えない場合があります。
- ・申込は1回のみ行い、訂正がある場合は事務局へご連絡ください。

貴機関所定書式（請求書・領収書・債権者登録書等）での対応が必要な場合は、返信用封筒（切手貼付）を同封の上、必要事項をすべて記入した書類を下記へ郵送してください。内容確認後、押印して返送します。ホームページにて参考書式をダウンロードできます。  
【郵送先】〒362-0806

埼玉県北足立郡伊奈町小室818-2

「 埼玉県立精神保健福祉センター内

全国精神保健福祉相談員会 研修会事務局 宛 」

## ★ 参加費等の振り込みに関する留意事項

- ・振込手数料は申込者のご負担となります。

### 公費で参加される方へ

- \* 参加者と振込名の照合のため、必ず研修会事務局あてに「振込名」と「入金予定日」をE-mailでご連絡ください。
- ・公費の方は、研修会終了後の入金も可能です。
- ・入金予定日は、概ねで結構です。

### 自費で参加される方・懇親会へ参加される方へ

- ・申込み後、10日以内に入金してください。

## ★ 申込不受理・キャンセルの取り扱いについて

- ・定員に達し参加できない場合又は参加要件を満たさない場合は、メール又は電話にて連絡の上、返金いたします。
- ・申込者の都合によるキャンセルはできません。事後入金の方や懇親会申込者も同様です。不参加の方には、後日資料を送りますので研修会事務局へE-mailにてご連絡ください。

## ★ 入金後から当日まで

- ・参加証等書類一式を申込者に送付し、参加決定といたします。
- ・参加できない方には事前に連絡いたします。
- ・当日、資料引換証を受付に提出し、資料をお受取りください。

振込先 ゆうちょ銀行 店番038 普通口座 口座番号 6761441

名義 全国精神保健福祉相談員会 (ゼンコケイソクホクシツクワダソウカイ) ※会長名は含みません  
ゆうちょ銀行(同行): 記号10360 番号67614411 (名義は上記と同じ)

申込受付期間 平成29年12月11日(月)～平成30年1月12日(金) 必着  
注意! 定員に達し次第、締め切ります。